

# 今が旬! 栄養レシピ

## 秋鮭のりんごソースがけ

### ○ 鮭とりんごでアンチエイジングと疲労回復

酸化は動脈硬化やガン、白髪、シミ、老化の原因です。鮭のアスタキサンチンとりんごのポリフェノールは酸化を食い止めるアンチエイジングに欠かせない抗酸化作用を持ちます。また、鮭のビタミン B1 とりんごに含まれるリンゴ酸の二つを摂ることで相乗的に疲労を回復させることができます。夏にたまった疲れを吹き飛ばしましょう。

### ○ りんごを赤く煮る方法

りんごの皮に多く含まれるポリフェノールは赤色を残すことで効果を最大限に利用できます。この色素は加熱時特に損なわれやすいので、以下の点に気をつけてみましょう。

- ・水煮を避ける（バター煮にする）
- ・加熱時酸性にしておく（ワイン、レモン汁を使用する）
- ・加熱が終了後は速やかにあら熱を取る
- ・紅玉など赤色が強いりんごを使用する



### 材 料 (4 人分)

秋鮭		1 切れ
塩、こしょう	ムニエル	少々
薄力粉		小さじ 1
バター		小さじ 1
りんご	りんごソース	1/4 個
バター		小さじ 1
白ワイン		大さじ 1
はちみつ		7g
レモン汁		小さじ 1
しめじ、エリンギ	きのこソテー	30g
バター		小さじ 1/2
白ワイン		大さじ 1/2
塩、こしょう		少々

### 作り方

- 1 鮭は塩、こしょうを振って 5 分置き、出てきた水分をキッチンペーパーで拭き取って薄力粉をまぶす。
- 2 フライパンを熱して、バターを入れ、皮目を下にして焼き、裏返して両面焼いてムニエルを作る。
- 3 フライパンの汚れをさっと拭いて、バターを溶かし、いちょう切りしたりんごを加え白ワインを振って炒める。
- 4 りんごがしんなりしたら、レモン汁を加え入れ、ボウルに取ってはちみつを和える。
- 5 フライパンにバターを入れ、石突きを落としたきのこを加え白ワインを振って塩こしょうで味付けする。
- 6 皿に 2 のムニエルを盛り、4 のりんごソースをかけ、5 のきのこソテーを添えて完成。

### 栄養量 (1 人あたり)

エネルギー	278kcal
たんぱく質	21.3g
脂質	12.1g
炭水化物	18.5g
カルシウム	19mg
鉄分	0.91mg
塩分	1.3g

# せいれい 聖隷よこはま



<http://www.seirei.or.jp/yokohama/>  
ご自由にお持ちください

診療科  
紹介

## ドック・健診科

横浜市健診と同じ日に、「えらべる健診」が受けられます

特集

せいれい訪問看護ステーション横浜  
ゆうゆう assist 居宅介護支援センター保土ヶ谷

お知らせ

- 第 2 回 - 認定看護師紹介

最新トピックス

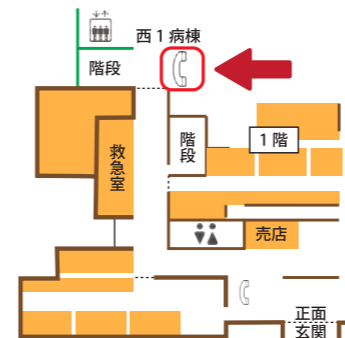
ほっと情報・インフォメーション

建築 NEWS!!

新外来棟建築工事進捗

今が旬! 栄養レシピ

秋鮭のりんごソースがけ



西 1 病棟近くの  
電話ボックスにて  
四季折々の作品を  
展示中です!  
ぜひお楽しみください!

10月の表紙は  
「中秋の名月」  
(縫製ボランティアさん作成)

病院理念

私たちは、隣人愛の精神のもと、  
安全で良質な医療を提供し、地域に貢献し続けます





## 横浜市健診と同じ日に、「えらべる健診」が受けられます

聖隷横浜病院ドック・健診科は、平成 29 年 2 月、病院内（救急科隣り）に併設されました。ここでは以前より実施していた横浜市特定健診や横浜市がん検診をはじめ、事業者向け健診、気になるところだけを選んで一つからでも検査が行える「えらべる健診（検査）」も行っております。

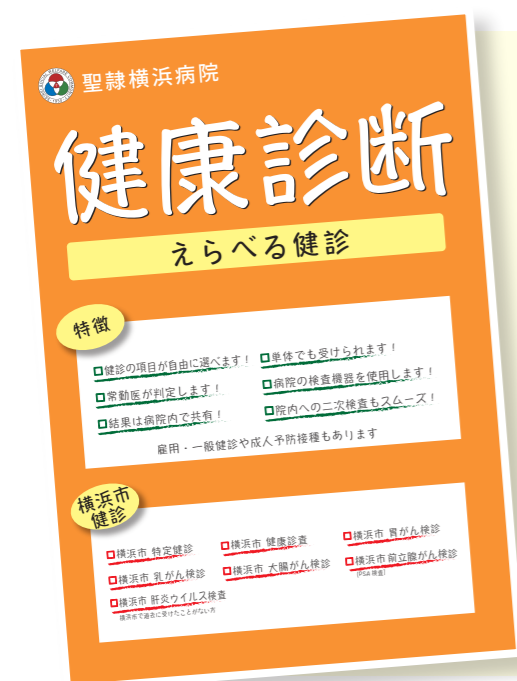
横浜市の健診と「えらべる健診（検査）」を同日に行うことができ、簡易的な検査はドック・健診室内で行いますので、来院から会計までの時間も短くて済むようになりました。



ドック・健診科 部長 平野 進 医師

現代社会では生活習慣病（がん、肥満、動脈硬化、脳疾患・心血管疾患など）を意識しながら生活する必要があります。また、年齢が高くなればそれだけ様々な病気の心配が出てきます。病気には遺伝が関係することもあるため、がん・高血圧・糖尿病などの家族歴や危険因子をお持ちの方は、健康診断よりもさらに詳しいことが分かる人間ドックが必要になります。ぜひ年に一度は健康診断と「えらべる健診」を受けて、病気の早期発見に役立てていただきたいと思います。

当ドック・健診科では、三大疾病の一つである脳卒中などの予防検査として脳 MRI の検査や、胃カメラ・大腸カメラにつきましてもお電話で予約を受け付けておりますので、お気軽に健診スタッフにご相談下さい。



### 検査項目

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1 アミノインデックス®検査   | 18 心電図検査               |
| 2 心不全検査          | 19 胃バリウム検査             |
| 3 甲状腺検査          | 20 胃カメラ検査              |
| 4 アレルギー抗体検査      | 21 大腸がん検査              |
| 5 感染症抗体検査        | 22 大腸カメラ検査             |
| 6 リウマチ抗体検査       | 23 動脈硬化測定              |
| 7 B型・C型肝炎ウイルス検査  | 24 骨密度検査               |
| 8 ピロリ菌検査         | 25 腹部エコー検査             |
| 9 血液型検査          | 26 簡易視力検査              |
| 10 貧血検査          | 27 簡易聴力検査              |
| 11 前立腺がん検査       | 28 乳腺エコー検査             |
| 12 男性ホルモン（更年期）検査 | 29 乳がん検診（視触診+マンモグラフィー） |
| 13 脳 MRI 検査      | 30 卵巣がん検査              |
| 14 眼底検査          | 31 女性ホルモン（更年期）検査       |
| 15 胸部レントゲン検査     | 健康診断 A                 |
| 16 胸部 CT 検査      | 健康診断 B                 |
| 17 頸動脈エコー検査      |                        |

## 当健診室の特徴をご紹介します。

1. 健診の項目を自由に選べるので、ご自身の希望に添ったコースを組むことができます。単体で受けることも可能です。

2. 各診療科の診察が始まる前の朝 8 時から健診を行っていますので、検査、会計の待ち時間が少なく済みます。



3. 健診の結果は病院内で共有していますので、院内での二次検査もスムーズに受けられます。

4. 問診、採血、心電図等、簡易的な検査項目については、院内を回ることなく当科で検査が終了します。また、スムーズに検査を行っていただける様に、ロッカールームも備えてあります。

5. 内視鏡検査、超音波（エコー）検査は、日頃診療にたずさわる経験豊富なスタッフが検査を行います。



6. 検査結果で再検査・要医療の判断となった場合、ご希望であれば院内での当日受診の対応または受診に関するお手伝いをさせていただきます。

7. 各種健診結果は後日ご送付させていただくシステムをとっておりますが、ご希望に応じて人間ドックアドバイザー（日本人間ドック協会認定）の資格を持つドック・健診室専属の医師からの結果説明（有料）も可能です。

## 健診の流れ「特定健診+乳がん検診+乳腺エコー」の場合

受付から料金お支払いまでの**所要時間は 1 時間 30 分程度**です。※当日の予約状況により異なります。

例) 8 時 30 分予約のタイムスケジュール





**特集**  
つながる医療

～せいいい訪問看護ステーション横浜～  
～ゆうゆう assist 居宅介護支援センター保土ヶ谷～

聖隷横浜病院の敷地内には、訪問看護事業として「せいいい訪問看護ステーション横浜」、居宅介護支援事業所として(株) YSG ナーシング運営「ゆうゆう assist 居宅介護支援センター保土ヶ谷」があります。病院から在宅へスムーズに移行するための支援や在宅での安心・安全な生活を送るためのサービスを行っています。今回はどのような事業所なのかご紹介いたします。

**居宅介護支援事業所：ゆうゆう assist 居宅介護支援センター保土ヶ谷**



スタッフ構成人員 (2017年9月1日時点)  
介護支援専門員 4名  
住所：横浜市保土ヶ谷区岩井町 215  
聖隷横浜病院内フェリーチェ 206号室  
TEL：045-326-6893  
居宅介護支援管理者：岡部 美奈子

**保土ヶ谷事業所紹介**



ゆうゆう assist (アシスト) 保土ヶ谷事業所は「地域の皆さまへ、より優しい介護保険サービスを・・・」をモットーに、平成 28 年 11 月、聖隷横浜病院敷地内に居宅支援事業所をスタートさせて頂きました。  
私たちは一世紀にわたり横浜を中心に石油事業を展開してきた株式会社 YSG ホールディングス (旧横浜石油株式会社) を運営母体に持つ事業所です。介護事業としては、平成 17 年に中区長者町で訪問介護事業所・居宅支援事業所をスタート。中区を中心に地域の皆さまへ「真心を込めた介護サービス」を提供し実績を積んで参りました。

保土ヶ谷事業所におきましては、所長の岡部を中心に 3 名のスタッフが勤務し、地域にお住まいの皆さま、聖隷横浜病院に入院されている患者様に対して少しでもお役に立てるよう日々奮闘しております。介護保険申請等、お困りごとがありましたら、是非、気軽にご相談下さい。

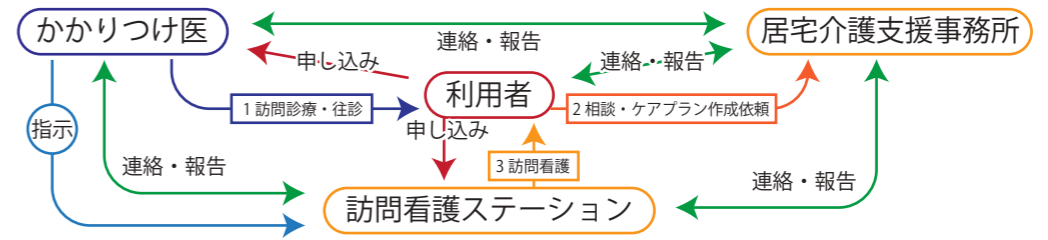
**大切に考えていること**



私たちは「医療と福祉」「病院と在宅」を繋ぐお手伝いをさせて頂ければと考えています。  
介護・福祉に専門的知識を持ったケアマネジャーが、住み慣れたご自宅で安心・安全に生活するため、必要なアドバイスをさせて頂きます。サービス提供にあたっては、お客様のニーズにあわせたプランを作成、専門スタッフ (介護スタッフ) がご自宅を訪問し生活をサポート致します。

そこで心掛けていることは「病院との連携」です。サービスを提供させて頂く専門スタッフが、お客様の状況変化をケアマネジャーへ伝え、それを訪問看護や病院へいち早く報告致します。

インターネットが普及する中、アナログ手法ではありますが、あえてアナログ手法を大切に、「優しい介護保険サービス」を提供させて頂いております。



**訪問看護事業所：せいいい訪問看護ステーション横浜**



スタッフ構成人員 (2017年9月1日時点)  
看護師 11名 / 作業療法士 2名 / 理学療法士 1名 / 事務 1名  
特色：病院併設の訪問看護ステーションとして運営。聖隷横浜病院の患者さんであれば関係する病院職員と顔を合わせた情報交換ができ、必要時にはレスパイト入院も紹介できます。がん末期の方も多く、最期まで自宅で過ごしたいという希望が叶えられるような看護を提供しています。居宅介護支援事業所が隣接しているためケアマネジャーとの情報交換も円滑に行われます。訪問スタッフには看護師の他、理学療法士・作業療法士もいるため、退院後も継続リハビリが実施できます。

**訪問看護ステーションとは**

通常は患者さまが病院へ行くのに対し、自宅に居ながらにして看護を受けられることを目的とした事業所で、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士等が医師や関係機関と連携して、医師の指示に基づいた処置やケアを行うところです。ご利用者の年齢は問わず、介護予防のアドバイスから在宅での医療行為 (点滴等)、看取りまで行うことができます。定期的な訪問以外に緊急時の訪問や 365 日 24 時間電話での相談も応じます。

**病院と居宅介護支援事業所の関わり**

既に介護保険の認定を受けサービスを利用している患者さまは、退院前に居宅介護支援事業所よりケアマネジャーが病院を訪れ、身体的、生活環境的状况を踏まえ退院後のサービスの見直し等を行います。介護保険の申請、認定を受けていない人は、居宅介護支援事業所が代行して申請を行うこともできます。病院の敷地内に居宅介護支援事業所が設置されているということは、入院中必要な時すぐにケアマネジャーが駆けつけられ、安心して退院に繋がることができるメリットがあります。

**事業所の特色・アピールポイント**

病院併設の訪問看護ステーションなので、当院の患者さまであれば関係する病院職員と顔を合わせた情報交換ができること、必要時にはレスパイト入院も紹介できます。がん末期の方も多く、最期まで自宅で過ごしたいという希望が叶えられるような看護を提供しています。居宅介護支援事業所が隣接しているためケアマネジャーとの情報交換はスムーズ。訪問スタッフには理学療法士・作業療法士もおり、退院後も継続リハビリが実施できます。  
※レスパイト入院：レスパイトとは「一時休止」「休息」「息抜き」という意味です。在宅介護などで介護者が日々の介護に疲れを感じ、介護力の限界を超え、介護不能となることを予防する目的で短期間の入院が利用できます。

□利用したい場合の手続き

病気や障害を持つ人で、かかりつけ医 (主治医) が必要と判断すれば利用できます。医療保険と介護保険いずれかの公的保険を利用しますが、介護保険の場合は、まずお住まいの市町村の窓口で要介護認定を申請し、要介護 1～5 あるいは要支援 1～2 と認定される必要があります。その後ケアマネジャーが作成するケアプランに訪問看護が組み込まれてはじめて訪問看護サービスが利用できる仕組みになっています。公的な保険を使って利用する場合は制約がありますが、当ステーションでは自費でのサービスも提供することができます。



## \\ 専門・認定・診療看護師 //

# 当院のスペシャリストナースをご紹介します！

- 第2回 -

**認定看護師とは** 特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識があると認められた看護師のことをいいます。

外来 がん化学療法看護認定看護師  
鶴田 華林



### がん化学療法看護認定看護師の役割

現在、様々な抗がん剤による治療が開発されています。患者さまが抗がん剤の治療内容を決めるところから関わり、治療の多くは外来において行われますので、自宅での生活が困らないよう、副作用に対する支援を患者さまと患者さまをサポートする方々に行っています。また抗がん剤治療に関わる看護スタッフへの指導や相談も行っています。

### 活動内容



外来化学療法室や外科外来で活動をしています。外来化学療法室は外来2階の外科外来の隣にあります。点滴の抗がん剤治療を受けるだけでなく、リウマチ薬の点滴を受ける患者さまも外来化学療法室を利用しています。治療時間は患者さまお一人お一人違いますが、長時間の滞在となる方もいらっしゃいます。また、基本的には治療を何回か繰り返して行いますので、利用する患者さまが安心して、快適に過ごすことができるよう環境調整を行っています。抗がん剤やリウマチ薬

は十分な配慮が必要な薬剤であるため、各科の医師や、がん薬物療法認定薬剤師と連携し、システム作りを行って、担当する各スタッフが安全に投与できるよう調整します。各科外来において飲み薬の抗がん剤による治療を行っている患者さまには、体調や副作用がないかを確認したり、新たな治療を始める際にも治療内容の説明なども行っています。

### 認定看護師として、大切にしていること

高齢化に伴い2, 3人に1人はがんになる時代と言われていますが、治療の進歩により、がんとともに長く生活されている患者さまもいらっしゃいます。しかしその経過の中で、患者さまは治療について何度も決めていかなければならないことがあります。治療を受ける方の望む生き方をお聞きしながら、その方にとっての最善をともに考え、療養生活をご支援させていただきたいと思っています。



当院には、2領域の専門看護師、7領域の認定看護師、診療看護師が在籍しています。さまざまな活動を展開し、看護の質の向上に取り組んでいます。今回は「がん化学療法看護認定看護師」と「手術看護認定看護師」を紹介します。

手術室・中央材料室 手術看護認定看護師  
渡邊 怜治



### 手術看護認定看護師の役割

近年、患者さまの負担が少なくなるように麻酔や手術手技・医療機器は複雑・高度化しています。そのような背景下で、手術看護認定看護師は手術を受ける患者さまが安心して安全で最善な手術を受けられるように専門的な知識と技術をもって医療チームに関わる事が求められています。また、手術という治療を選択する際の自己決定を支援することも重要な役割だと考えています。

### 活動内容

2017年7月に手術看護認定看護師の資格を取得したばかりです。まずは手術室と外来・病棟との連携を強化していきたいと考えています。手術室は閉鎖的で、医療者にも手術看護が理解されにくい側面があります。手術を受ける患者さまの代弁者として他職種・他部門との連携を強化して継続した治療を安全に提供できる環境をさらに整えていきます。

手術看護は、器械出し看護としての手術器械や医療機器の取り扱い・術式の理解、外周看護として麻酔や身体侵襲を含めた身体面だけでなく患者さまの精神面の理解など多岐に及びます。手術室看護スタッフと共に学びあう「共育(教育)」体制を整え、手術の合併症を可能な限り予防して最良の手術を提供できる環境作りに努めていきます。さらに、手術看護の価値を再認識できる活動を通して患者さまが望むケアにつなげていきたいと考えています。



### 患者さま・ご家族へのメッセージ

手術は、今後の人生に関わる重要な出来事です。その手術を「納得」して、さらに可能な限り「安心」して受けて頂きたいと考えています。手術室看護師として一緒に手術に向き合い患者さまが望むケアを提供させていただきたいと思っています。そのためにも、ご不明な点や疑問に感じたことなどはご相談下さい。





# ほっと情報

## Information

このページは、健康や医療にまつわる最新情報、その他興味深いホットな情報をお届けします。知って得するお話です。

### 1 在宅医療を受けたいとき

看護相談室 看護師 根岸 恵

皆さんは在宅医療という言葉を知っていますか。通院が難しくなった方が自宅で医師・看護師の訪問診療・看護を受けることです。ここ10年で病気をもちながら住み慣れた自宅で療養し、「安心して生活を送りたい」、「自宅で最期まで過ごしたい」と希望する方が増え、2014年の全国調査では在宅医療を受けた患者さんは1日に約16万人もいたことが報告されました。

横浜市には在宅医療を専門に行う診療所や夜間休日対応の訪問看護ステーションが数多くあり、在宅医療を受ける方の心強い味方です。また、かかりつけ診療所の医師が訪問できる場合もあります。医師が自宅に来るので費用が高いと思うかもしれませんが、訪問診療は医療保険が利用できます。

在宅医療を受けたいときは、主治医や看護師、医療ソーシャルワーカーにご相談ください。



### 2 転倒しない身体づくり

リハビリテーション室 理学療法士 松井 美樹

近年、高齢者の転倒による骨折が増加しています。転倒を防ぐために身体的な能力低下を防ぐことが大切です。そのために、日常生活の身体活動レベルをいかに維持・高めて過ごすことが重要です。

今回は、家でも簡単に行える予防体操を紹介します。

- ① 立ち座りのトレーニング、椅子から立ち上がり、また座ることを繰り返します。
- ② 踵上げ下げトレーニング、立った姿勢でゆっくりと踵を持ち上げ5秒程度つま先立ちをして、ゆっくりと踵を下ろします。
- ③ つま先の上げ下げトレーニング、座った状態で両足の踵を床にしっかりつけます。できるだけ力強くゆっくりとつま先を上げ、そのまま5秒程度キープしゆっくり下ろします。

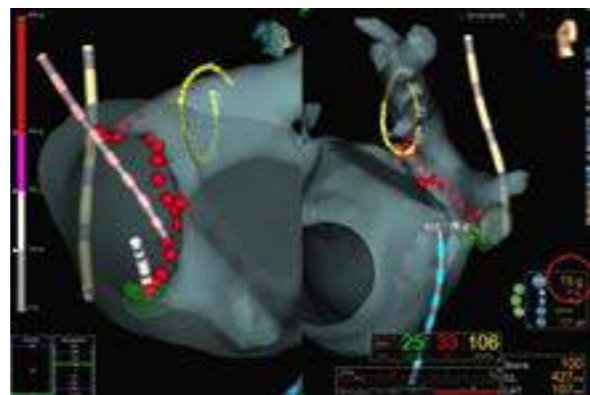
### 3 最新技術で不整脈治療

臨床工学室 臨床工学技士 杉村 淳



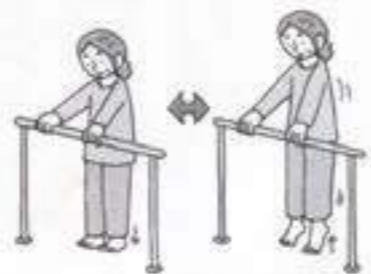
心臓がドキドキして、気分が悪くなったことはないでしょうか？それは、不整脈が原因かもしれません。不整脈の治療には、薬物治療とアブレーションの選択肢があります。薬物治療が第一選択ですが、抗不整脈薬などを一生飲み続ける必要があります。アブレーションは、カテーテルという管を心臓内に挿入し、不整脈の原因となる異常な心筋を高周波電流で焼灼する根治治療です。

私たち臨床工学技士は、最新技術を駆使し、安全で質の高いアブレーションをバックアップしています。その最新技術の一つを紹介します。コンタクトフォースは、カテーテルが心筋に接触する圧力をモニタリングする技術です。適切な圧力でカテーテルを押し当てることで、再発の少ない、成功率の高いアブレーションを実現しています。



1セット10回程度から始めて、徐々に回数を増やしていきます。無理のない範囲で、継続的に行うことが大切です。

#### 踵の上げ下げトレーニング



#### 立ち座り動作→スクワット運動



### 4 CTとMRIって何が違うの？

放射線課 診療放射線技師 内田 雄士

どちらも丸い機械の中に入って検査を行っているイメージがありますが、見える画像は大分違います。

CT検査は、X線を体の回りにぐるっと当てる検査です。撮影時間は胸から骨盤まで10秒程度です。この為、広い範囲の検査にはCTが適しています。また細かいものを見るのが得意な検査でもあります。しかしCT検査ではX線を使うため放射線被ばくがあります。

MRIは、磁気と電波を利用する検査です。X線を使わないため放射線の被ばくがありません。また体の中の臓器に濃度差をつけて画像にするのが得意です。しかし、検査に時間がかかる、体内に金属が入っていると検査できない場合がある、という欠点があります。また狭い所が苦手な方にも不向きです。

上記の特徴は一般的に言われている内容で例外はありますが、CT・MRIそれぞれには長所・短所があり、患者様の病気や状態に合わせて、医師が判断し、診断や治療に必要な十分な情報が得られるように検査を行っています。

ご不明なことがございましたら、放射線技師までご相談ください。



CT画像

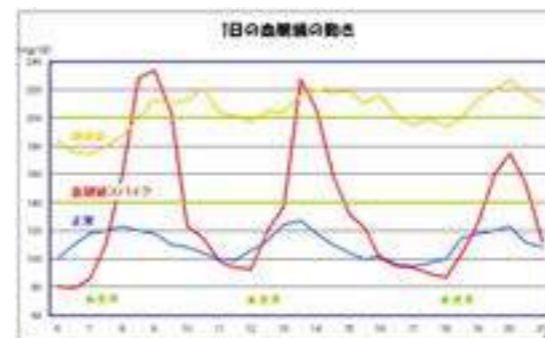


MRI画像

### 5 本当に怖い！！血糖値スパイク

検査課 臨床検査技師 杉岡 結衣

糖尿病を知るために大切な血糖値。食後急激に血糖値が上昇してしまう「血糖値スパイク（食後高血糖）」が血管に悪影響を与えることがわかってきました。血糖値は食後1～2時間でピークとなり、140mg/dlまでの上昇は正常範囲内ですが、血糖値スパイクとなると200～300mg/dlにもなってしまいます。食事のスピードも関係しており、早く食べるほど急上昇しやすいといわれています。通常の健康診断では空腹時の血糖を調べているため、この血糖値スパイクは見逃されてしまうことがあるのです。血糖値の急上昇・急降下は血管を傷つけ、動脈硬化のリスクを高めます。ひいては心筋梗塞や脳梗塞にもつながります。食後だるくなる、集中できない、視界がぼやけるなど、何かで不安なことがございましたら主治医にご相談ください！！



### 6 湿布薬の豆知識

薬剤課 薬剤師 中山 梨乃

肩こり、頭痛、捻挫、突き指に……湿布薬を使った経験のある方は多いはず。痛いところに貼るだけで痛みの和らぐ便利な湿布薬ですが、貼った部位だけではなく、全身に薬の作用が回ることもあるのはご存知でしょうか？

湿布薬の成分は皮膚から吸収されて局所に効果が出ますが、薬の種類や使用枚数によっては吸収された成分が血中を巡ることで全身に作用を示すため、痛み止めの飲み薬と同等の作用・副作用を示すことがあるのです。二種類以上の湿布薬を、あるいは湿布薬と痛み止めの飲み薬を併用している場合も同様です。例えば2016年に発売されたロコアテープ®は1日2枚までと使用枚数に制限があり、痛み止めの飲み薬との併用も出来る限り避けるよう説明があります。手軽に使用できる湿布薬ですが、用法用量を守って正しくお使いください。



# せいれい インフォメーション

Information

## 1 紹介状のメリットとは？

地域連携・患者支援センター 事務 藤園 栄佳

紹介状は正式には「診療情報提供書」と呼ばれています。

紹介状は単に医療機関を紹介する書類ではなく、患者さんにあった質の高い医療を提供するためのもので、下記のようなメリットがあります。

1. 紹介状により自分の症状が専門的に説明されているので、診療計画をスムーズに立てることが出来ます。
2. 病院での特定保険外併用療養費がかかりません。
3. 紹介状により初診の方でも診療科によっては事前予約ができるので、待ち時間が短くなります。
4. 同じ検査を行う必要がなくなる場合があり、患者さんの負担が少なくなります。

医療機関が互いに連携しあうことで、患者さん自身がより良い医療を受けられることにつながります。そのためにも紹介状を持って受診されることをおすすめします。

## 2 第14回ふれあい健康フェスタ開催のお知らせ

ふれあい健康フェスタ実行委員

11月11日(土)に「第14回ふれあい健康フェスタ」を開催いたします。  
地域の皆さまとの交流をテーマに健康相談コーナーや体験コーナー、せいれい健康講座、看護師さんに変身しての記念写真館など、子どもから大人まで楽しめる企画を用意しています。  
皆さまお誘い合わせのうえ、多数のご参加をお待ちしています♪

日時：11月11日(土) 13時00分～16時00分(予定)

場所：立体駐車場及び、院内スペース

企画：健康相談コーナー、体験コーナー、模擬店、せいれい健康講座など



※2016年度のふれあい健康フェスタより



みんなの参加を  
待ってるよ～♪



# 建築NEWS!!

## 新外来棟建築工事進捗

2017年4月より新外来棟の建築工事が始まり、聖隷横浜病院から見える工事現場の景色は少しずつですが変化しています。現在は、建築工事に不要な土の撤去作業を実施、撤去が終わったエリアから土砂崩れが起きないように、土留め工事を開始しています。

工事期間中、当院を利用されている方々ならびに近隣住民の皆さまには、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



新外来棟入口前ロータリー（一部完成）



土の撤去作業風景



土留め工事風景

## 病院内保育所の園児の皆さんと野菜の収穫をしました

2017年6月と7月に建設会社の事務所前にて育てている野菜を当院の職員、ひだまり保育園園児(病院内保育所)、建設会社の職員で収穫をしました。今後も建築工事以外に建設会社の職員と交流を続けていきます。

2017年  
6月16日



2017年  
7月27日



※収穫風景の詳細は、当院ホームページのスタッフブログ  
(<http://www.seirei.or.jp/yokohama/about/1079.html>) をご覧ください。